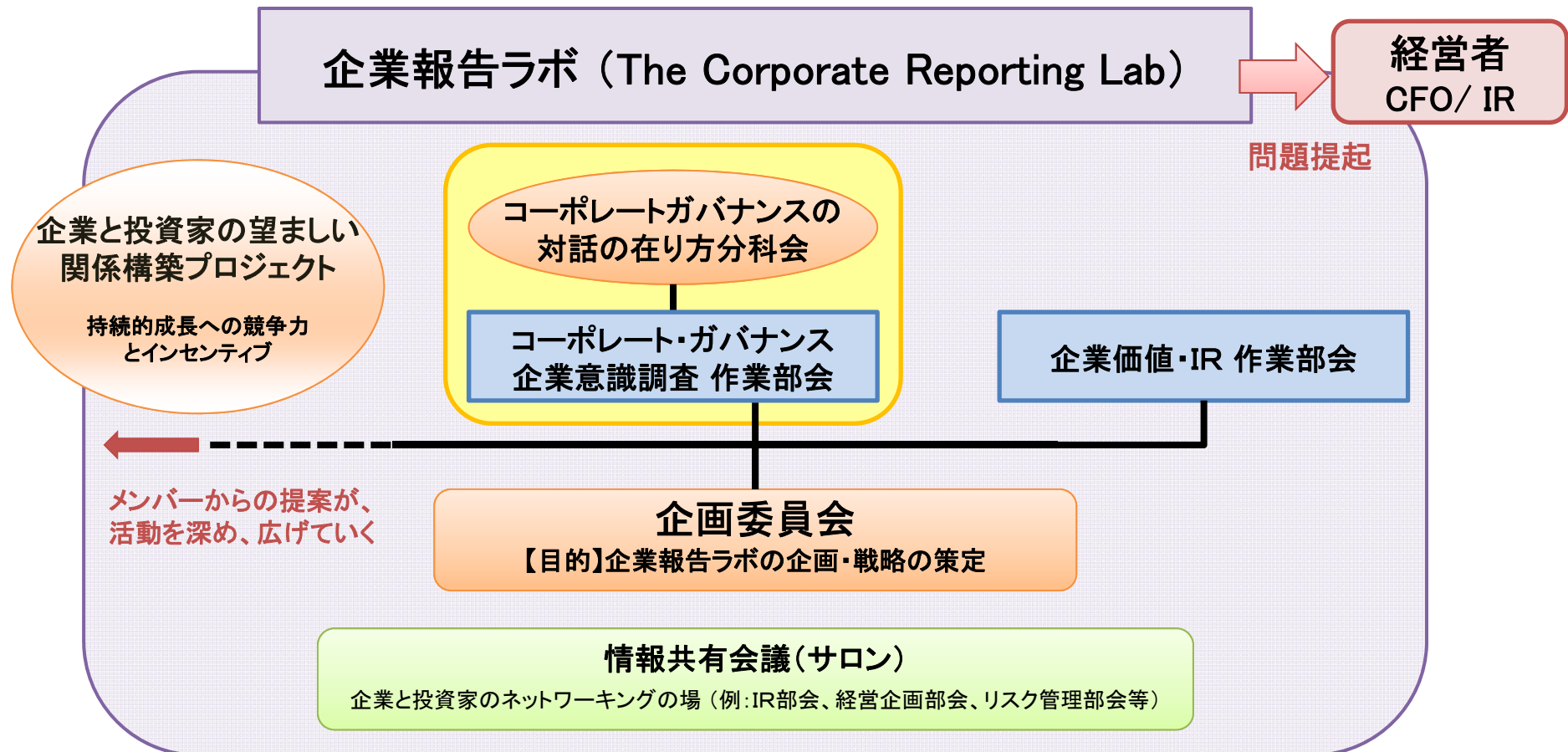


企業報告ラボ(The Corporate Reporting Lab)

- 企業と投資家が、企業価値の向上に向けた対話や開示のあり方を検討、調査、提案する場として、2012年7月「企業報告ラボ(The Corporate Reporting Lab)」を設立。
- 企業と投資家が集い、それぞれの認識の違いを理解し、共通の理解や言葉を探ることで、より建設的な対話を促すことを目指す。
- 日本市場に関心を持つ海外投資家を含む、内外の関係者とのネットワークを構築するとともに、日本からのメッセージを発信することを目指す。



「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～」プロジェクトの論点

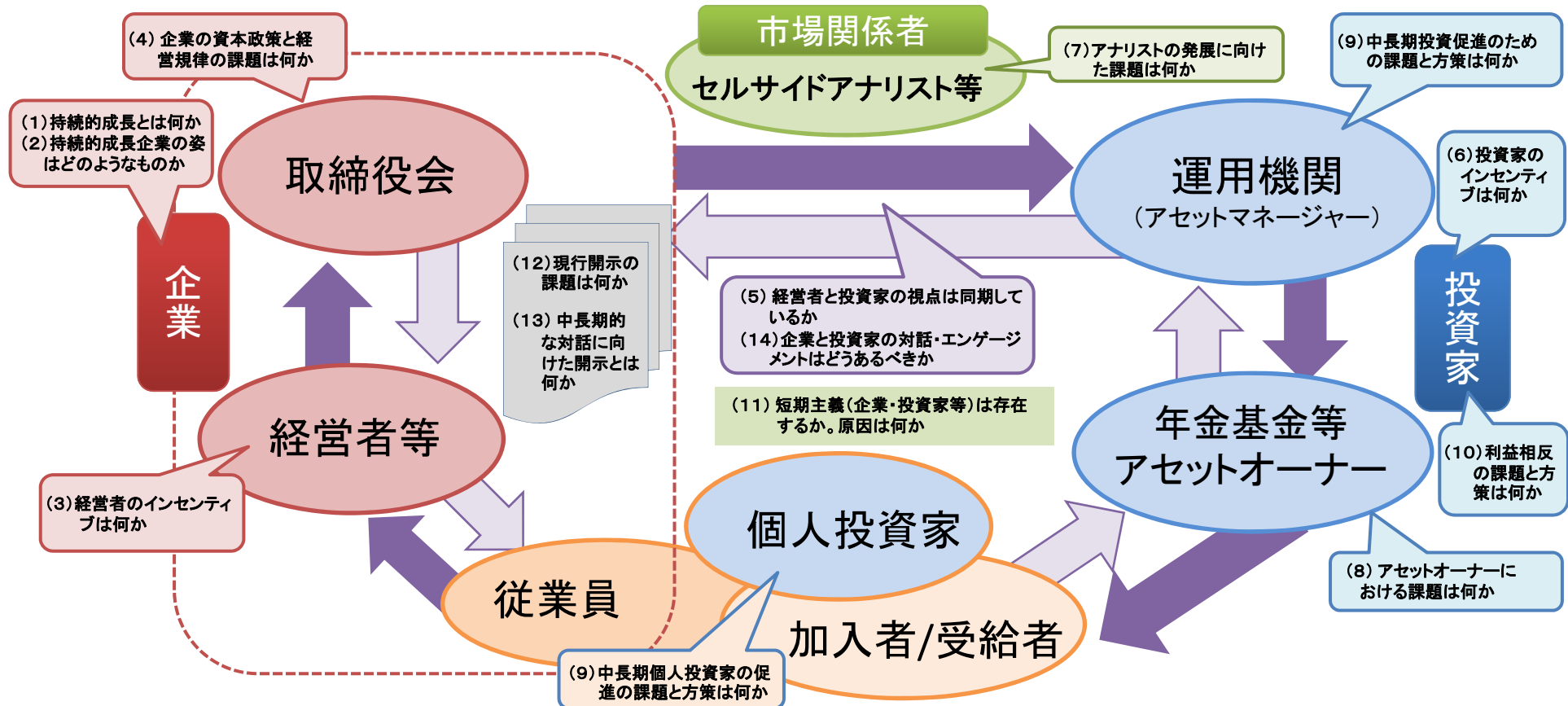
【国際的背景】金融危機の反省から、短期主義は正やガバナンス強化、企業と投資家の対話（エンゲージメント）、企業開示・報告の見直しが世界的な議論に
 ○ EU: 長期投資促進や企業と株主の対話促進の政策検討。英国「ケイ報告（Kay Review）」は企業の長期業績向上のための資本市場のあり方を分析・提言
 ○ 米国: 「アクティビスト」の台頭等を背景に、株主と経営陣の対話のあり方やガバナンスが大きな議論に
 ○ 財務報告に関する「開示フレームワーク」、非財務情報も含む「統合報告」など開示・報告の国際的枠組みの検討が本格化

【本プロジェクトの目的】
 企業が持続的に成長するための**競争力強化に向けた課題**とそれを支える**資本市場のあり方**を検討し、提言をとりまとめ

【検討のポイント】

- ① **投資環境全体を鳥瞰**: 企業経営者、投資家、市場関係者の三者が一堂に会し、共通理解と対話を深めつつ議論
- ② **日本の文脈での議論**: 国際的な議論・論点を念頭に置きつつ、「日本の論点」を明確化
- ③ **世界との対話**: 海外の機関投資家を含む**世界の関係者**に対し、検討の各プロセスで問いかけ、発信、対話を実施

➡ 14の論点について、国内外から**情報・エビデンス**提供を呼びかけ、問題の所在、原因、インセンティブ構造を検証



持続的成長への競争力とインセンティブ ～企業と投資家の望ましい関係構築～プロジェクトの進め方(イメージ)

企業経営者／海外(グローバル投資家等)

